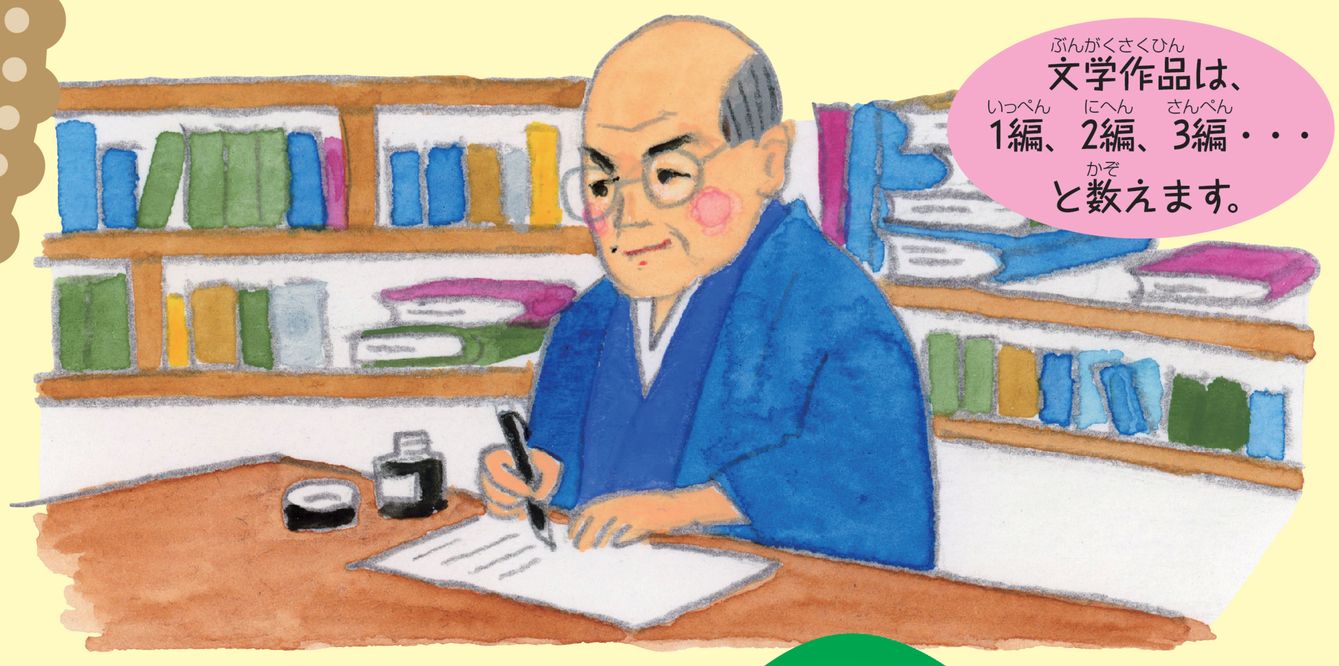
クイズを解いてめざせ！実篤博士！

問1 一生でいくつの文学作品を書いた？

A 70編　B 700編　C 7000編

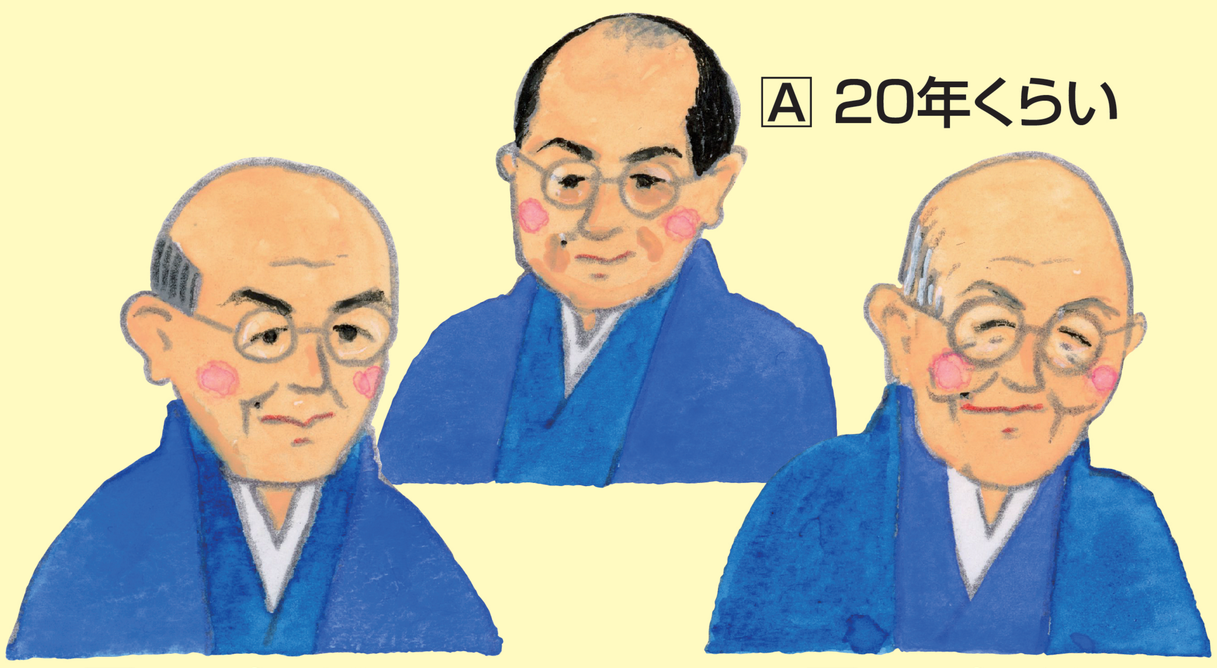


文学編

物語や詩、感想など、言葉で書いた作品を「文学」といいます。武者小路実篤は文学作品をたくさん書きました。

問2 何年くらい文学に取り組んだ？

A 20年くらい



B 50年くらい　C 70年くらい

問3 この詩のさいごに入る言葉は？

長い廊下を一人で
どしんどしんどしんと
おおまたで 力をいれて 歩いてみたい。
そうして ときどき、おおごえで どなってみたい。
？

A「お――――い」
B「やっほ――――」
C「がお――――」

問1の正解は…C 7000編！
「一寸おどってみたい 春の日。」という13文字の詩もひとつの文学作品。85歳の時に書いた「一人の男」という文学作品は、なんと作文用紙494枚！

問2の正解は…C 70年くらい！
22歳くらいから90歳で亡くなる前まで。物語や詩だけでなく、感想や自分の考え、家族や友達との思い出など、いろいろなことを書き残しました。

問3の正解は…A「お――――い」！
実篤が24歳の時に書いた「長い廊下」という詩です。「お――――い」と言葉をのばしているところからも、廊下が長くて、音がひびく感じが伝わってきます。